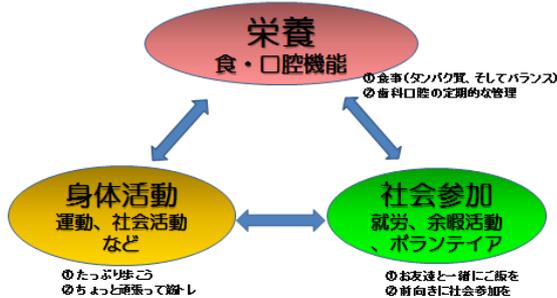


2025年問題

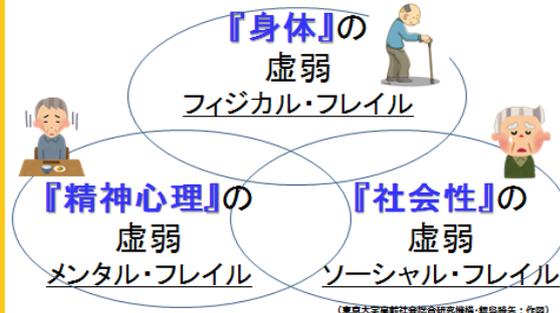
団塊の世代が75歳以上となり超高齢者社会が到来します。社会保障財政も崩れる事が予想され、国の政策として地域包括ケアシステムが掲げられています。また、サルコペニアやフレイルに陥らないよう予防していくことが重要となります。

健康長寿のための『3つの柱』

より早期からのサルコペニア予防・フレイル(虚弱)予防



「フレイル(虚弱)」と言っても様々なヒトはどの側面が弱っていくのか？



ソーシャル・フレイルとは？

- ・定年後、社会的地位(役割)の喪失
- ・閉じこもり
- ・人との関わりの減少 など

↓ によって

口腔・身体機能低下、低栄養、うつ 等を引き起こす可能性があります。

そのため、趣味や目標を持ち、社会参加していくことは重要で、サルコペニアやフレイルの予防にもなります。

摂食嚥下・口腔ケアチームとして、話す・皆と楽しく食べるといった社会性を大切にしながら、支援していきたいと思えます。

9月の口腔ケアチームの活動報告

平成29年9月10日に行われた「口のリハビリテーション 医科歯科連携インストラクター研修会」に参加しました。

乳児嚥下や成人嚥下の違い、口のリハビリテーションの理念、医科歯科連携(チームアプローチ)、リハ栄養・フレイルや地域包括ケアシステム等を学ぶことができました。

口腔ケアチームは、地域への講演会や歯ブラシ指導、さらにお口のことなどの相談も受け付けています。ご質問・ご意見等がありましたら、下記までご連絡下さい。

電話:098-856-1111 Fax:098-856-1408

社会福祉法人 まつみ福祉会 介護老人保健施設 桜山荘
 摂食・嚥下・口腔ケアチーム

砂川元 外間明美 金城ゆかり 與儀万紀 高嶺明佳